

## 団体会員の推移（会員になった年とその時の名称、■：現在も会員、□：現在は退会）

1974	■有松まちづくりの会□今井町を保存する会■妻籠を愛する会
1975	□富田林寺内町を守る会□奈良井宿保存会
1978	□川越市文化財保護協会■内子町八日市周辺町並み保存会→八日市護国地区町並保存会□よみがえる近江八幡の会□こんびら門前町を守る会■足助の町並みを守る会→足助観光協会□奈良井地区文化振興委員会
1979	■会津復古会■会津北方風土会□城下町彦根を考える会□大平宿をのこす会□小樽夢のまちづくり実行委員会■小樽運河を守る会→小樽運河新世紀フォーラム■伊勢河崎の歴史と文化を育てる会→伊勢河崎まちづくり衆□祇園新橋を守る会
1980	□長崎・中島川を守る会■函館の歴史的風土を守る会
1981	■関町町並み保存会→東海道関宿まちなみ保存会 ■臼杵の歴史的景観を守る会→臼杵のんき屋■吹屋町並み保存会□大阪都市環境会議□金沢駅前本町を守る会■あいの会「松坂」□鎌倉都市計画市民懇談会□大平宿を語る会■上野の杜の会□美しい角館をまもる会■竹富島を守る会→竹富島まちなみ保存調整委員会□丸亀市本島笠島まち並保存区協力会
1983	□天領日田を見直す会□伊勢文化会議所□高砂町並み保存会□杵築市愛郷会□京都伏見町並み通信社□宇和町中町を守る会■城崎温泉の町並みを守る会→豊岡まちなみ連盟
1984	■犬山の町並みを考える会→大山城下町を守る会■川越蔵の会□龍野霞城文化自然保勝会
1985	■町並みまちづくりを考える大分県民の会□吉井の白壁保存と活性化を考える会→吉井町観光協会□これからの竹原を考える会□赤沢宿を考える会□別荘松韻荘と茅ヶ崎の町を考える会□安中の自然と文化を学ぶ会□米沢復古会
1986	□古町の町並みを愛する会■熊川宿まちなみ保存委員会→若狭熊川宿まちづくり特別委員会□ふるさと津島を語る会□鎌倉・御成小の改築を考える会■栃木蔵の街暖簾会■美々津の歴史的町並みを守る会■大内宿保存会□下諏訪まちなみの会■いわむら城下町保存会→恵那市観光協会岩村支部
1987	■白川郷荻町集落の自然環境を守る会□信州須坂町並みの会■喜多方のれん会
1988	□宿場町枚方を考える会
1989	■港まち神戸を愛する会
1990	■脇町南町町並保存会■今井町町並み保存会■京都東山観光散策道路を守る会
1992	□小木町□津川とんぼの町並み自然と文化を守る会■越後村上・城下町まちなみの会+村上町家再生プロジェクト■宿場町木屋瀬街づくりの会□坂越のまち並みを創る会■公益社団法人奈良まちづくりセンター
1993	□臼杵デザイン会議■小樽再生フォーラム
1994	■美山北かやぶきの里保存会→京都・美山・北村かやぶきの里保存会
1995	■油津・堀川運河を考える会
1996	□結城市蔵造り街並み保存協議会
1997	■蔵の会（喜多方）■共楽館を考える集い■美濃の町並みを愛する会■鞆の浦・海の子→鞆まちづくり工房
1999	□みんなのチエを集めて勝鬨橋をあげる会□白丹町天狗会■朝里のまちづくりの会→小樽・朝里のまちづくりの会
2000	■大聖寺まちなみ景観整備委員会→歴町センター大聖寺□美々津耳川お舟出の会■小野川と佐原の町並みを考える会■八女福島伝統的町並み協定運営委員会→八女福島町並み保存会■吉良川町並み保存会□豊町御手洗重伝建地区を考える会□上賀茂町並み保存会
2001	□信州須坂風土舎
2002	■戸次本町街づくり推進協議会■肥前浜宿水とまちなみの会■□銀谷の町並みをつくる会
2003	■別府八湯トラスト□温泉津の町並み保存を実現する会■京町家再生研究会
2005	□有松まち普請の会
2006	■足助観光協会■たいとう歴史都市研究会■龍ヶ崎の価値ある建造物を保存する市民の会
2007	□博多津にぎわい復興計画研究会■飛騨市観光協会■盛岡まち並み塾
2008	■地域ネット研究会 UWA ■あづち大島たからもの会□城下町松江の景観と町づくりを考える会■倉敷町家トラスト
2009	■黒木地区町並み保存協議会□羽澤ガーデンの景観と文化財を守る会
2010	□佐倉一里塚■二見浦・賓日館の会
2011	■新潟まち遺産の会■かもがた町家管理組合■夢空間松代のまちと心を育てる会■本一・本二まちづくりの会
2013	□出石城下町を活かす会□内野地区活性化協議会■ディカバーまかべ
2016	■小保・榎津藩境のまち保存会
2017	■小諸町並み研究会
2019	■風の港まちづくりネットワーク■豊岡まちなみ連盟
2019	■湯浅伝建地区保存協議会
2020	■台湾歴史資源経理学会■松阪歴史文化舎
2022	■小川町創りプロジェクト■増田まちなみ保存会■小樽運河新世紀フォーラム■京町家作事組
2024	■倉敷伝建地区をまもり育てる会

# 町並みかわら版

臨時増刊  
2024年10月26日  
全国町並み保存連盟  
The Japanese Association  
for MACHI-NAMI  
Conservation and Regeneration

## ★第47回全国町並みゼミ東京大会特集

## 「まちなみはみんなのもの」から50年 町並みが未来をひらく

1974年4月17日、「今井町を保存する会」「妻籠を愛する会」「有松まちづくりの会」の代表が名古屋・有松の竹田邸に集まって、町並み保存連盟を結成した。今年はそれからちょうど50年。結成50周年を記念する第47回全国町並みゼミを東京で開催する。大会1日目は50周年記念トーク。創立団体、町並みゼミのベテラン、今をときめく町並み活動家がそれぞれの想いを開陳する。

東京での町並みゼミ開催は、第5回（1982）、第21回（1998）に続く3回目である。東京で開催するメリットは、地域固有の課題とはやや距離を置いて、町並み保存そして歴史的環境の保全について普遍的な課題や方向性を俯瞰することができることだ。そこで今回は、いつもの分科会方式をやめ、テーマをしばり、参加者全体で課題や将来の方向性を共有できる大会にしたい。具体的には、2日目の午前中を【制度】に、午後を【防災】にあてる。保存と活用、観光公害、空き家問題、場所づくり、国際協力、気候変動・・・課題は尽きないが、今回はこのふたつの基本テーマをとりあげよう。

### 第47回全国町並みゼミ東京大会

日時：2024年10月26日（土）～27日（日）  
場所：千葉大学墨田サテライトキャンパス  
主催：第47回全国町並みゼミ東京大会実行委員会、NPO法人全国町並み保存連盟  
☆会場のある墨田区京島では、10月5日から11月3日まで「すみだ向島 EXPO2024」が開催されています。☆全国町並み保存連盟も「東京長屋」に一軒を借りて「〇〇 in 東京長屋」を開催。会員や協力団体が代わる代わる発信します。

「地域固有の課題とはやや距離を置く」と書いた。しかし東京であっても、東京という地域と無縁でいわけがない（第5回ゼミの成果のひとつは「東京にも町並みがある」だった）。今回会場となる墨田区京島は、ふたつの基本テーマを考える上で絶好の場所だ。関東大震災後に形成され、長らく対策が必要とされてきた木造密集市街地は、今や100年になるうとする歴史的町並みである。その町並みを評価して、負の遺産と思われていたものを「地域文化を継承する幸せな建物と人」へ変える歴史まちづくりが取り組まれている。その中心を担っている「八島花文化財団」が今回のパートナーである。そこで制度と防災はどうなっているか、私たちの議論を大いに刺激してくれるだろう。

全国町並み保存連盟は、「町並みはみんなのもの」をスローガンに50年間活動してきた。今回のゼミでは、このスローガンを再確認するとともに、タワーマンションではなく町並みこそが、私たちのまちの未来を拓くのだという確信へつなげていきたい。

**協力**  
公益財団法人日本ナショナルトラスト、一般社団法人八島花文化財団、すみだ向島 EXPO2024 実行委員会  
**後援**  
国土交通省、農林水産省、観光庁、NPO法人向島学会、UDCすみだ、公益財団法人文化財建造物保存技術協会、公益社団法人全国国宝重要文化財所有者連盟、一般社団法人日本建築学会、公益社団法人日本都市計画学会、公益社団法人土木学会、公益社団法人造園学会、公益社団法人日本ナショナル・トラスト協会、公益社団法人日本建築士会連合会（予定）、全国伝統的建造物群保存地区協議会、歴史的景観都市協議会、一般社団法人日本イコモス国内委員会、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟、公益社団法人日本建築家協会登録、文化財建造物所有者の会、認定NPO法人日本都市計画家協会

# プログラム

**[1日目]** 10月26日(土)

- 10時、10時30分：** 八島花まちあるきツアー（京成曳舟駅から会場へ）
- 13時：** 開会式
- 3時30分：** 基調講演①「東京・向島の町並みの歴史」  
山本俊哉・明治大学教授、認定NPO法人都市計画家協会会長、NPO法人向島学会理事
- 基調講演②「墨田京島における長屋継承の取り組み」  
後藤大輝・一般社団法人八島花文化財団代表理事
- 14時30分：** 全国町並み保存連盟50周年記念トーク
- 1. これからもトップランナー：創立三団体の想い**  
藤原義則・公益財団法人妻籠を愛する会理事長  
中濱 豊・有松まちづくりの会会長  
若林稔・今井町町並み保存会相談役、全国町並み保存連盟監事
- 2. 連盟はこれでよいのか：ベテラン三人の提言**  
松居秀子・NPO法人鞆まちづくり工房理事長  
中 一夫・小樽運河新世紀フォーラム代表、小樽・朝里のまちづくりの会副会長、全国町並み保存連盟理事  
斎藤行雄・白杵のんき屋副理事長、全国町並み保存連盟副理事長
- 3. まちなみは私が守る：町並み活動家三人の決意**  
関由有子・一般社団法人雁木のまち再生代表理事  
紙田和代・一般社団法人八島花文化財団副理事長  
小杉由紀・NPO法人川越蔵の会事業部副部長
- 聞き手：**西村幸夫・國學院大学教授、全国町並み保存連盟常任理事
- 17時30分：** 峯山富美賞2024贈呈式
- 18時：** 交流会（19時30分終了）
- 20時30分：** 交流会二次会（会場：京島劇場）

## ■全国町並み保存連盟50周年記念トーク：出演者のプロフィール

**藤原義則**  
1948年生まれ。IHIターボ(旧石川島汎用機械)で主にターボの開発実験を担当、イタリア工場勤務を経験。退職後、南木曾商工会事務局長、(財)妻籠を愛する会常務理事を経て2019より理事長。(公社)日本ナショナル・トラスト協会常務理事、信州の歴史的まちなみネットワーク代表、木曾風景街推進協議会会長。趣味は溪流釣りやきのことり他。

**中濱豊**  
1965年生まれ。婦人服メーカーの量販店衣料品課勤めを終えて30歳で家業の有松絞り製造販売業の合資会社中浜商店に入社、現在に至る。2023年5月より会長。趣味は、町歩きや食べ歩き、野球・相撲観戦、ミュージカル観劇(「レ・ミゼラブル」は、ブロードウェイを含めて30回程)。おむすび、海老、蝦蛄、鰻が好物。

**若林稔**  
今井町生まれ、近畿日本鉄道の広報・企画に永年勤め、現在はまちづくり活動の拠点として修復古民家「阿伽陀屋若林亭」を主宰。多趣味を活かして、人材育成、書道、茶道、漆、造園剪定、自然農法指導、木工、着物リメイク、パソ

コンと多彩な育成塾を開塾。「Nara観光コンシェルジュ」「あしたのなら」知事表彰受賞。

**松居秀子**  
鞆の浦生まれ。若い頃、海外で暮らし、鞆の浦にもどり埋立架橋工事を知り、1990年から活動を始める。第20回村上大会に初参加、2002年に鞆の浦で全国大会を開催、多大な支援を受け、「県は埋め立ててはならぬ」との判決を勝ち取るが、県が埋め立て申請を取り下げたのは2016年、代替トンネルは来年3月開通予定。2003年「NPO法人鞆まちづくり工房」を立ち上げ、空き家再生事業を行う。宮崎駿監督との交流も長く、御舟宿いるは、そわか楼など、鞆の浦にとって大切な建物を再生。現在は「鞆街づくり会社」と協力。第1回峯山富美賞受賞。

**中一夫**  
1955年生まれ、第3回全国町並みゼミ小樽・函館大会で実行委員会に参加。第24回小樽大会事務局長、第46回小樽大会実行委員長。北海道新聞販売所を継ぎ、小樽のまちなかから移転するが、朝里の住民をまきこんだまちづくりを展開。今年度小樽美術市展にて入賞。朝里のまちづくりの会は褒賞(緑綬)を受ける。

\*2回目の開催、\*\*3回目の開催

2002	H14	25. [鞆の浦] 見ようや！ふるさとの文化 文化で生活(めし)がくえるかのう
2003	H15	26. [今井] 再び、町並みはみんなもの NPO法人認定
2004	H16	景観法 27. [大聖寺] ゆったりと行こう、あったらもんと共に
2005	H17	文化的景観 28. [美濃] とりもどそまいか、町並みの賑わい
2006	H18	29. [八女福島] 未来へ継承するぞ、町並み文化
2007	H19	30. [伊勢] 伝えよう、心とかたちの町並み文化
2008	H20	歴史まちづくり法 31. [卯之町] だんだん学ぼう、よもよも人づくり
2009	H21	鞆の浦訴訟・勝訴 32. [佐原・成田] 歴史的資源を生かしたまちづくり
2010	H22	33. [盛岡] 暮らしの息づく町並み：住民による歴史まちづくり 日台町並み交流ツアー：台北の町並みまちづくりの現場を訪ねて
2011	H23	ユネスコHUL勧告(歴史的中心の保存から歴史まちづくりへ) 東日本大震災、文化財ドクター事業参加 34. [飛騨市] つなごう歴史の町づくり：飛騨の匠の技と心を伝えよう
2012	H24	35. [福岡] 地域遺産の再発見と街の魅力創出：福岡から生かそう町並みとアジア文化 国家戦略特区・古民家緩和
2013	H25	京都市歴史的建築物保存活用条例、金澤町家条例 36. [倉敷] つながる地域文化の伝統と創造：備中の風土力の発信
2014	H26	建築基準法第3条第1項第3号・技術的助言 37. [鹿島・嬉野] つなごう歴史遺産 みがこう町並み文化
2015	H27	日本遺産 38. [豊岡] ふるさとよみがえりへの想い：コウノトリ舞う豊岡にて 明日の日本を支える観光ビジョン 観光庁：歴史資源を活かした観光まちづくり
2016	H28	伝統的構法に係る基準の合理化 39. [大内・前沢] 町並みを次の世代へ：保存と暮らしの共存 峯山富美賞スタート
2017	H29	40. [名古屋有松*] 町並みはわたしが守る、みんなのものから40年 文化財保存活用地域計画
2018	H30	京都市京町家の保全及び継承に関する条例 41. [長野松代・善光寺] 町並みを守って歴史文化のまちづくり：次世代へ・未来へ、伝える・つなぐ
2019	H31	42. [川越*] 歴史都市のこれから；過去に学び、今を見つめ、未来を思い、共に歩む
2020	R1	43. [桜川真壁] これからの町並み保存とは？たび重なる災害からの復旧と新しい生活様式の中で(オンライン)
2021	R2	無形文化財登録制度 44. [奈良] まちの資産のいかしかた なにを、だれが、どのように(ハイブリッド)
2022	R3	45. [新潟市] 市民の活動でつなげる歴史まちづくり：みなとまち新潟から考える
2023	R4	46. [小樽**] 小樽運河100年の歴史から考える：今、ふるさとの魅力を未来へ
2024	R5	47. [東京**] 町並みはみんなのものから50年、町並みが未来をひらく
2025	R6	48. [台北] (予定)

## 全国町並み保存連盟の 50 年

1962	S37	フランス：マルロー法
1964	S39	ヴェニス憲章
1966	S41	古都保存法
1968	S43	金沢市伝統環境条例、倉敷市伝統美観条例、明治百年記念妻籠宿保存工事 文化庁設置 イギリス：シビック・アメニティズ・アクト
1970	S45	全国歴史的風土保存連盟（全歴風連）
1971	S46	柳川市伝統美観条例、盛岡市自然環境条例 世界遺産条約
1972	S47	京都市市街地景観条例、高山市環境保全基本条例、高山市市街地景観条例、高梁市環境保全 条例、萩市歴史的景観保存条例、山の手（横浜）景観風致保全要綱、平戸市風致保存条例
1974	S49	<b>町並み保存連盟設立（4月17日）</b>
1975	S50	全国町並み保存連盟へ改称 重要伝統的建造物群保存地区制度
1978	S53	1. [有松・足助] 町並みはみんなのもの
1979	S54	2. [近江八幡] 明日へ活かそう、われらが遺産
1980	S55	3. [小樽・函館] 新しい町自慢の創造を
1981	S56	4. [琴平] 息づけ！町並みの顔
1982	S57	5. [東京] 語ろう、明日の町並み町づくり 東京事務局スタート、町並み瓦版創刊
1983	S58	6. [臼杵] 町並みに誇りと息吹と未来とを
1984	S59	7. [大平] 町ぐるみ語れ！町並みこそふるさと
1985	S60	8. [龍野] 残そう、町並みの心と形
1986	S61	9. [会津] 町並みと商人文化の創造
1987	S62	10. [松阪] 生活文化としての町並みを考える
1988	S63	11. [竹富] 語ろう町並み、広げよう“うつぐみ”の輪
1989	H1	12. [栃木] 生かそう蔵の町
1990	H2	13. [京都] 町並みはんなり・歴史都市
1991	H3	14. [角館] 町並みは、お祭りのところ
1992	H4	15. [吉井] 町並み再発見・ゆとりと調和
1993	H5	16. [川越] 武州・川越町並み博、あれから百年、これから百年
1994	H6	17. [須坂] 明日にはぐくむ、町並みの輪
1995	H7	阪神淡路大震災 18. [妻籠] 町並み保存の原点を、みんなで喋り考えよう
1996	H8	登録文化財制度 19. [犬山] みんなで考えよう、保存・育成・創造の町づくり
1997	H9	20. [村上] ひとなみ・まちなみ・まちづくり
1998	H10	21. [東京*] 日本の町並み 東京の町並み
1999	H11	22. [臼杵*] まちなみ・環境・まちづくり、今ふたたび臼杵から 23. [日南] 文化財保護法五十年、伝えよう文化財の町並み
2000	H12	歴史的町並み・集落保存憲章 文部大臣表彰
2001	H13	24. [小樽*] 21世紀・新しいまちづくりの手法と展望

## [2日目] 10月27日（日）

9時：	<b>セッション1</b> 「制度：町並み保存から歴史まちづくりへ」 町並み保存の中核的制度である重要伝統的建造物群保存地区も、来年、制度制定 50周年を迎える。大きな成果をあげてきたが、①範囲や対象が限定されがち、②重伝建地区になりきれない歴史都市も少なくないなど、課題も多い。これからより間口の広い、「歴史まちづくり」のシステムをどう構築するかを考える。 <b>進行</b> ：福川裕一（全国町並み保存連盟理事長、千葉大学名誉教授）
11時15分：	<b>ブロック会議・昼食</b>
12時45分：	<b>セッション2</b> 「防災：災害に強い町並みとは？ 目指すは回復力」 耐震改修が進まない、そもそもどのような考え方で耐震の措置をとればよいか、火事をはじめ、防災をどう措置するか・・・防災をめぐる議論は尽きない。保存に必要な建築基準法の緩和を受ける場合も、さまざまな防災措置が要求される。防災は「災害に強い町並みとは？」という原点から問う必要があるようだ。当日は、各地の取り組みを出し合い、論点をあきらかにしたい。 <b>進行</b> ：鈴木伸治（横浜市立大学教授）
15時：	<b>閉会式（15時20分終了）</b>

### ウラダナ「〇〇 in 東京長屋」10月26日以降のスケジュール

10月27日 16時30分～18時：講演会「倉敷～小川町～京島 町並みに想う」相子芳也・建築家

10月28日・11月1日 10時～17時（予定）：台湾歴史資源経理学会パネル展

11月2日 11時～17時：「長野県飯田市大平の民家たちは今！」生活文化同人

11月3日：日本左官会議

なお、千葉大学墨田サテライトキャンパス1階で、台湾歴史資源経理学会が「建国ビール（建國啤酒廠）パネル展」を行います（10月26日・27日・11月2日・3日）

### 斎藤行雄

臼杵生まれ、第4回琴平大会に初参加、23才で第6回臼杵大会実行委員会事務局長、第22回臼杵大会を開催。小樽に続いて3回目の町並みゼミ開催を検討中。大分県庁を退職した現在は JR 上臼杵駅舎や自宅裏庭の防空壕の管理、食文化を含めた臼杵の歴史・自然を活かしたまちづくりに専念。趣味は熱帯魚、山野草の栽培など。「臼杵妖怪博物館」を構想中。

### 関由有子

上越高田生まれ、大学で京都に出、海外を経て高田に戻る。北欧フィンランドの風景と暮らしの豊かさ、人々のしづとさ！（シス）の精神に染まる。帰国後は、警女や雁木など高田の文化を守る活動を通じて、建築家として「高田小町」や「高田世界館」の再生を担当。雁木のまち再生では、空き家を「つぎつぎ」と次の世代に繋ぎ、息を吹き込んでいく。趣味は鉄道旅、俳句もかじってます。第7回峯山富美賞受賞。

### 紙田和代

ハト屋パン店・玉ノ井長屋、けん玉横丁長屋オーナー。大阪生まれ、大学で建築、大学院で土木を学ぶ。足尾銅山

の住環境整備従事ののち、阪神・淡路大震災以来、ほぼ全ての大規模災害復興事業に携わる。東日本大震災の復興事業で7年間岩手県に単身赴任するかたわら、すみだ向島の長屋に2地域居住し、キラキラ橘商店街の三大看板のひとつ「ハト屋パン店」を守るためにパン屋さんになる。現在は能登半島地震の黒瓦再生、江戸期建築の登録有形文化財の取得、活用にも取り組む。

### 小杉由紀

浦和出身。川越に移住して11年目。二児の母。結婚前は大手企業でITやクリエイティブな分野に携わる。2年前にさいたま市岩槻区で築100年の古民家を改修し、「プレゼントしたくなるベーグル」をキャッチコピーにMIYATAYA BAGELを開業。地元で愛される人気店になっている。その他、スタートアップや青山でのギャラリー運営、クリエイティブ、ファッションの分野などに携わる。趣味は筋トレ、美容、ファッション、アニメや漫画などのサブカルチャー、絵を描くこと。

# MAP

1/25 100m

**DATA (京島二丁目+三丁目)**  
世帯数: 3,833 (昭和42 (1967))  
→ 3,304 (令和2 (2020))  
人口: 15,209 (昭和41 (1966))  
→ 5,979 (令和3 (2021))

**京島3丁目防災街区整備事業**  
UR都市機構による再開発事業、平成25 (2013) 年竣工

**第8コミュニティ住宅**

**主要生活道路整備**  
幅員8~9m 三丁目側は優先整備路線として整備済み

**ハト屋パン店**  
E50周年記念トークに出演する紙田和代さんが老後資金を注ぎ込んで閉店していたパン店を再開。看板がなんとも愛くるしい。

**京島劇場**  
イベントスペース。町並みゼミ交流会の二次会はこちらでやります。

**三角長屋**  
EXPO期間中の毎日午後6時。2階の窓から夕刻のバイオリン弾きが時報を奏でる

**京島南公園**  
巨大なマンモス滑り台は必見

**けん玉横丁新築長屋**  
一帯は1~2階建も準防火建築にしなければならない新防火地域。燃え代設計で木造露わしを実現。構造計算も行き、高い耐震性を確保。進行する建売ミニ開発に挑戦する木造長屋モデル!

**踏切長屋**  
1階がカフェ、2階がシェアハウス

**町並みゼミ会場**  
千葉大学墨田サテライトキャンパス

**文花会館**  
正面は大正モダン、側面はもと日本蕎麦屋のファサード

**アカデミックハウス**  
京島3丁目  
学生さんのシェアハウス

**京島駅**  
ゲイジユツがあちこちに仕掛けられているもと米穀店。2階はネパール料理のレストラン。EXPO期間中はなにはともあれ行くべき総合受付

**京島屋梅里 / EXPO 実行委員会**  
横浜市立大学鈴木研究室による長屋の調査結果が展示されている。かつて1000棟を超えた長屋は、今や89棟をのこすのみとなった。なお、墨田区資料では、昭和55 (1980) 年に5.1%だった不燃化率は令和2 (2020) 年に43.0%へ

**ウラダナ「○○ in 東京長屋」**  
ロケにも使われる仕舞多屋の長屋。EXPO期間中、全国町並み保存連盟加盟の団体が代わるがわる情報を発信。

**京島共同木工所**  
全国町並み保存連盟サイトのアイキャッチ写真になっている四軒長屋。共同木工所はその南側一軒目でEXPO会期中は、京島に15年というジェニファーさんが「あじさいレポート」を出店。

**muumuucafe**  
けん玉を売っている (教えてもらえる) カフェ。

**三軒長屋旧邸**  
看板建築の堂々とした長屋

**旧邸稽古場**  
2023年の全国町並み保存連盟の総会はこちらで開催

**六軒長屋**  
瓦屋根、出桁造り  
南端に、昼カフェ、夜おでんのYOMOCK

**爬虫類館分館**  
シェアカフェと直輸入のワイン  
ショップが入る白い二軒長屋

**七軒長屋**

**電気湯**  
映画「パーフェクトデイズ」で、役所会社がトイレ掃除の汗を流していた公衆浴場。土曜は休みでさまざまなイベントが。主人公・平山 (役所公司) は、京島あたりに住み、隅田川を自転車であたり、浅草の地下で晩酌という想定。

